

## 平成29年度東海大学秋期留学生が北海道開発局次長を表敬訪問、意見交換しました。



平成29年10月12日に平成29年度東海大学秋期留学生（スウェーデン4名、アメリカ3名）が北海道開発局を訪れました。

当該留学生は東海大学北海道キャンパスにおいて、日本語プログラムを学ぶために10月から来道しています。このたび、北海道をより深く理解するために、北海道の開発に携わってきた当局を訪問し、北海道開発の歴史や政策についての講義を職員から受けた後、西山局次長との意見交換が行われました。

意見交換では局次長から開発事業の成果や、現在の北海道の強みについて説明した後、留学生から日本語で自己紹介していただきました。

また、「第8期北海道総合開発計画以降の計画ではどのような姿を目指すのか」、「今後の日本経済において北海道がどのような役割を担うのか」、といった将来を見据えた鋭い質問が寄せられました。

これらの質問のほかにも、スウェーデン、ハワイにおける都市部への人口集中や地域振興方策、インバウンド対策など北海道総合開発計画の課題との共通点なども紹介いただき、北海道の現状と比較するなど、活発な意見交換が行われ、当局に取りまして大変有意義な時間となりました。

来道した留学生の今後の活躍が期待されます。



